

関係団体ヒアリング調査報告書

【目 次】

1. 調査概要	2
1.1. 調査目的	2
1.2. 実施期間	2
1.3. 調査対象団体	2
1.4. ヒアリング内容	2
2. 調査結果（概要）	4
2.1. 各団体の活動上の課題	4
2.2. 市の施策の課題及びそれに対する改善案・アイデア・要望等	4
3. ヒアリング記録	6
3.1. 津久見商工会議所	6
3.2. JA おおいた県南柑橘研究会	13
3.3. 大分県漁業協同組合（津久見支店）	18
3.4. 津久見社会福祉協議会	23
3.5. 津久見市連合 PTA.....	27

1. 調査概要

1.1. 調査目的

第6次津久見市総合計画（基本構想・前期基本計画）および第3期津久見市総合戦略・第3期津久見市人口ビジョン策定にあたって、各関係機関・団体の活動上の課題の抽出及びその対応策、市のまちづくりへの意見・要望等を把握するため、関係機関・団体等に対してヒアリングを実施する。

1.2. 実施期間

令和7年6月

1.3. 調査対象団体

市内5団体の代表を対象にヒアリングを実施した。

分野	団体	実施日
産業	① 津久見商工会議所	令和7年6月23日
農業	② JA おおいた県南柑橘研究会	令和7年6月6日
漁業	③ 大分県漁業協同組合(津久見支店)	令和7年6月9日
福祉全般 市民活動	④ 津久見社会福祉協議会	令和7年6月6日
教育	⑤ 津久見市連合PTA	令和7年6月23日

1.4. ヒアリング内容

- (1) 団体の活動上の課題について
- (2) 団体の活動分野における市の施策の課題について
- (3) 津久見市のまちづくりへの意見・要望等について

<ヒアリング調査項目>

(1) 団体の活動上の課題について

- ① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。
- ② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。
- ③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。
- ② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

（３）津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

- ① 基本目標１「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望
（保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等）
- ② 基本目標２「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望
（教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等）
- ③ 基本目標３「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望
（産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等）
- ④ 基本目標４「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望
（都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等）
- ⑤ 基本目標５「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望
（循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等）
- ⑥ 基本目標６「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望
（市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等）
- ⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

（４）その他、自由意見

2. 調査結果（概要）

2.1. 各団体の活動上の課題

団体	主な意見
商工会	・ 人口減少と高齢化の進行 ・ DX 推進の遅れ ・ 外部環境変化への対応力不足 ・ 情報発信・ブランディング不足
柑橘研究会	・ 農地整理 ・ 鳥獣被害 ・ 温暖化の影響による栽培技術の見直し
漁協	・ 市内の購買力の低さ ・ 高齢化による後継者不足
社協	・ 高齢化による民生委員の担い手不足 ・ 若者の活動への不参加 ・ DX 推進の遅れ
PTA	・ 小中学校統廃合による地域への影響の懸念 ・ 津久見市の魅力の乏しさ ・ コロナ禍以降の PTA 活動の意義

2.2. 市の施策の課題及びそれに対する改善案・アイデア・要望等

分野		主な意見
農林業	課題	・ 高齢化や収益性の低さによる就農者不足 ・ 良好な農地の維持管理の難しさ ・ 鳥獣被害 ・ 温暖化の影響による栽培技術の見直し
	改善策・アイデア	・ スマート農林業の導入 ・ 高付加価値化・ブランド化 ・ 販路拡大 ・ 企業参入・新規就農者への支援 ・ 包括的な農地整理 ・ 苗木の育成費用労賃制度の見直し ・ 鳥獣被害対策
水産業	課題	・ 高齢化及び後継者不足 ・ 加工・流通のバリューチェーン強化 ・ 市内の購買力の低さ
	改善策・アイデア	・ 養殖業の推進とブルーカーボンプロジェクトの導入 ・ 高付加価値化 ・ 観光や食育との連携 ・ 商業に精通した人材の育成・誘致 ・ スマート漁業の導入 ・ 流通の仕組みの見直し
その他産業振興	課題	・ 鉱工業における小規模事業者の脆弱性と若年層の定着率低下 ・ 中心市街地の空きテナント増加と地域消費の低迷 ・ 観光資源の認知度不足及び二次交通・コンテンツの不足
	改善策・アイデア	・ 新たな産業誘致及び事業承継支援の強化 ・ 中心市街地でのチャレンジ支援 ・ 観光コンテンツの確立

雇用 就業機会	課題	・ 若年層の県外流出 ・ 女性のキャリア継続の難しさ ・ 多様な働き方への未対応
	改善策・ アイデア	・ 地域内での多様な雇用機会の創出 ・ UIJ ターン促進のための支援 ・ ワークライフバランス推進及びシニア人材・外国人人材の活用補助
教育	課題	・ 不登校の生徒のための教育機会の確保 ・ 雨の日でも子どもが楽しめる場の不足 ・ 教員数の減少による教員の負担の増大
	改善策・ アイデア	・ 子どもたちが勉強するための施設の充実 ・ 新市庁舎周辺における集いの場の整備 ・ デジタル技術を活用した分散型の教育システム ・ ・ スポーツイベントの企画・開催
都市基盤	課題	・ 災害時の高齢者避難の難しさ ・ 生活基盤の不足による利便性の悪さ ・ 街灯や標識の一部未整備による安全性への不安
	改善策・ アイデア	・ 安全な避難体制の構築 ・ 生活基盤のハード・ソフト整備
医療 福祉	課題	・ 小児科や産婦人科を有する病院の不足
	改善策・ アイデア	・ 子どもの健康や福祉面での突出したサービス充実
地域コ ミュニ ティ	課題	・ 高齢社会に伴う自治会運営の困難 ・ 孤立者への支援 ・ 地域活動の衰退 ・ 地域とのつながりの希薄化
	改善策・ アイデア	・ 自治会における勉強会・検討会の実施 ・ 自治会再編を見据えた綿密な対話 ・ 委員・役員等の仕組みの柔軟性 ・ 小中学校における地域とのつながりに関する教育の導入

3. ヒアリング記録

3.1. 津久見商工会議所

(1) 団体の活動上の課題について

① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。

- ・ 人口減少と高齢化の進行：
各産業分野での担い手不足が慢性化し、事業承継(親族内・第三者承継)の必要性は高まる一方で、成約まで繋がるケースは少なく、急務で取り組まなければ必要な生活インフラが消滅し、地域資源(産業資源)はあるものの、経営資源の枯渇が著しいため、管内に於ける生産性の維持・向上が困難になる恐れがある。
事業承継について、大分県の事業承継引継支援センターとの協働で、事業者の状況を聞きながら進めている。過去の事例では、従業員による自転車屋の第三者承継、親族内での承継の手伝いを行っている。第三者の承継は少ないが、一定数ある。承継センターが間を取り持っているが、現場や承継後のバックアップを商工会が担っている。経営資源とは、人を示しており、技術が伝承されない事態を防ぐために重要と考えている。
- ・ DX 推進の遅れ：
最新技術の導入が進まないことで、経営効率の悪化や競争力の低下に繋がる可能性がある。高齢化であるからこそ、特に中小零細企業への浸透が課題であると感じる。DX 推進の遅れの原因は高齢化にのみならず、危機感が足りないことなども考えられる。
- ・ 外部環境変化への対応力不足：
物価高騰、エネルギー価格変動、地政学リスクなど、予測不能な外部要因への対応が、我々も含め正直遅れている実感はある。支援人材の欠如も含め、地域経済の維持・疲弊リスクが高まっていると感じる。
- ・ 情報発信・ブランディング不足：
地域資源の魅力が十分に伝わらず、地域間での競争もあるため、国内外からの集客や販路拡大に限界がある可能性がある。域外への販促含めて、魅力的な資源(産業資源・水産資源等)は多いため、未だ伸びしろは多いものだと思っている。
主な魅力的な資源は産業資源・水産資源・みかん・景観である。それに関連した新たな第3次産業について、販売できるパイが少なくなっており、サービス業では様々な販売チャネルを駆使していかないといけないが、その対応は遅れており、危機感が薄いことも事実である。それを踏まえると直接消費者へ届くサービスの産業、というと難しいことが事実。恵まれた資源の中でも消費期限が短いものも多いため、漁業に関連した食品加工業などが考えられる。

② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。

【農林業の振興】

就農者不足、高齢化、収益性の低い生産体制の維持、気候変動への対応などが課題。

【水産業の振興】

自然環境(海洋環境)の変化による漁獲量の減少、漁業従事者の高齢化と後継者不足、加工・流通のバリューチェーン強化などが課題。

【鉱工業の振興】

小規模事業者の経営基盤の脆弱性、DX 導入の遅れ、若年層の定着率向上、新規産業の創出不足などが課題。

【商業の振興】

中心市街地の空きテナント増加、高齢化による廃業、大型店や EC サイトとの競争激化、地域消費の低迷などが課題。

【観光の振興】

観光資源の認知度不足、二次交通の不便感、滞在型観光コンテンツの不足、インバウンド対応の遅れなどが課題。

【就労環境の整備】

若年層の県外流出、女性のキャリア継続支援不足、シニア雇用、多様な働き方への対応などが課題。

③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

【農林業の振興】

- ・ スマート農業・林業（IoT・AI 活用）の導入支援による省力化・生産性向上。
- ・ 更なる高付加価値化・ブランド化の推進（例：津久見ブランド柑橘、サンクィーンの深堀、ジビエ等の加工品開発）。
 - みかんのサンクィーンのワインを開発中であり、原材料を津久見でまかなえればと考えている。ゆくゆくは醸造業にも繋げ、産業や雇用状況に恩恵を与えられれば良い。津久見市はふるさと納税のラインナップの中で、魅力のある津久見ブランドがあまりないので、何かしらの商品を作りたい。ワインはできればふるさと納税にリストアップできるようにしたい。ワインに合う食材の開発や、ワイン事態の付加価値（洞窟貯蔵やイルカ島のプールに沈めるなど）の仕掛けにも発展できるのではないかと考えている。一次生産者と関わるのが少ないが、JA を通じずに直接販売するような創業ニーズもあるため、加工品という切り口から魅力ある商品を展開したいと考えている。
- ・ 道の駅やオンラインストアでの直販・販路拡大（ふるさと納税の連携・販促強化。）
- ・ 企業参入や新規就農者への包括的な支援（研修、資金補助、マッチング支援）。

【水産業の振興】

持続可能な漁業として養殖業の推進（藻場造成・ブルーカーボンプロジェクト、環境配慮型漁業、新規養殖技術の導入）。

- ブルーカーボンプロジェクトについては未だ検討段階ではなく、アイデア出しの最中である。モイカは名産の1つだが、磯焼けによって海藻がなく、漁獲量が少なくなっているため、藻場をつくってブルーカーボンにつなげるという発想がある。「ブルーカーボンモイカ」というようなブランドにもなりうる。ブルーカーボンは検証段階で難しさがある。

水産物の高付加価値化（加工品開発、環境配慮でのブランディング）。

体験型漁業などでの観光との連携による新たな収益源創出と担い手確保。

地元小学校等での食育と連携した地産地消の促進。

【鉱工業の振興】

- ・ 有限資源、地域特性を活かした産業誘致(セメント産業関連技術の応用、脱炭素関連産業)
- ・ サプライチェーン全体での事業承継支援の強化(M&A 相談窓口の設置)。
- ・ 中小企業向け DX 導入支援(IT ツール導入補助、コンサルティング)。
- ・ 新技術・新製品開発支援（産学官連携、補助金活用促進）。
- ・ 観光業とのタイアップによる業界認知向上。

【商業の振興】

- ・ 働く街から住む街への転換。各共有地の見直し、開発に向けた協議。
- ・ 創業・起業の機運醸成。学生起業家、シニア層の創業へのチャレンジ促進。
- ・ 中心市街地でのチャレンジスペース活用、若手事業者向け出店支援。
 - 商業における支援自体はすでに行っている。県の補助を使って焼肉店が出店したこともある。支援対象者は津久見市内の方には限らないが、呼ぶ業種にもよって変わりうる。例えばデジタル系の産業の人材を誘致は比較的しやすいと考えており、チャレンジスペース活用がしやすいと考えられる。
- ・ 地域特産品を活かした商業施設の検討。
- ・ DX を活用した商店街の魅力向上（オンライン販売支援、SNS 活用支援）。

【観光の振興】

- ・ 津久見ならではの「物語性/体験性」を重視した観光コンテンツの開発（古豪津久見高校に関連した野球文化、鉱山体験等産業観光(発破体験・特撮映画※保安面の課題はある)など）。
 - 観光業について、臼杵・佐伯に対する津久見のディスアドバンテージは城・温泉・造り酒屋がないということであり、別の切り口を見つけなければならない。
- ・ デジタルを活用した情報発信の強化(インフルエンサー活用・SNS 戦略)。
 - 「つくみん」はマンネリ化が見られる。デビューして 20 数年間ほどブレイクしていない。

- ・ サブカル文化を活かした展開(津久見出身アニメ原作者、VTuber 市場、独自アバターの立案など)
- ・ 地域産業（漁業、農業、鉱業）と連携した体験型観光プログラムの充実。
- ・ 交通手段の確保・改善（二次交通の整備、観光ルートバスの運行検討）。

【就労環境の整備】

- ・ 地域内での多様な雇用機会創出（副業・兼業推進など）。
 - 津久見市には女性に向けた仕事が少なく、それを満たす職種を呼び込まなければならないが、それはセメント産業でもなく、農業でもない。
 - IT 企業の誘致は考えており、IT ハッカソンを実施して県外の IT 企業の方々に集まっていたいただき、津久見市をいかに活性化するかについて議論した。一番盛り上がったアイデアは海・魚釣り・花火の資源を活かし、リモートで仕事しながら楽しむという働き方。自然資源への魅力はあるが、それを支える洗練されたインフラがない。
- ・ UII ターン促進のための情報提供・移住支援パッケージの充実。
- ・ 企業へのワークライフバランス推進、育児・介護支援制度導入の奨励。
- ・ シニア人材向けの再就職支援プログラムや職場環境整備への補助。
- ・ 特定地域づくり事業協同組合制度の活用による、地域内雇用の相互補完。
- ・ 外国人人材の活用補助。

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。

—

- ② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

—

(3) 津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

① 基本目標 1「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望

(保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等)

—

② 基本目標 2「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望

(教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等)

—

③ 基本目標 3「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望

(産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等)

・ 新しい産業誘致

基幹産業のセメント・石灰石産業だけでは、将来への夢が想像しにくいのは事実であり、若い世代が就きたい職業は多様化している。その選択肢として、将来に発展性のある先端のビジネスモデルや技術に係るものがあるかもしれない。

そういう意味でも、足元で調査研究の実績がある、「カーボンニュートラルポート構想の推進～新しいエネルギー産業誘致～立花湾埋め立て事業」を将来計画として盛り込むべき。

➤ 新エネルギー産業は以前から提唱している。津久見は石灰石を中心とした基幹産業があり、鉱山の会社も次の 100 年を見据えた開発を多額の出資によって行っている。セメント工場は CO2 をかなり多く排出してしまうという側面に対し、地域の行政からカーボンニュートラルを応援しないといけない。その発想の延長線上に、新たな産業の一部として新エネルギー産業が考えられ、セメントとカーボンニュートラルが共存できるような状態を考えている。石灰石の産業には人手が足りないのに、若い人が求める職があまり津久見市にはないというミスマッチがあることは審議会でもよくわかったため、新エネルギー産業が新たに若い人に求められる職になる可能性がある。津久見港はカーボンニュートラルポート構想が進んでいることもあるため、総合計画に盛り込み、議論をしていただきたい。

④ 基本目標 4「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望

(都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等)

津久見市は、恵まれた港湾を有しながらも、そのポテンシャルを十分に活かしきれていない。津久見港に入港する船舶の乗組員や関連技術者などが利用できる施設やサービスの整備に加え、人材育成、船舶・港湾に関する陸上電力供給の充実、LNG やアルコールなど次世代船舶燃料対応への調査研究をすすめ、将来の可能性を探ることなどで、CO₂排出量の削減に貢

献し、別府市の事例のように大きな経済効果をもたらす可能性がある。

また、今治市の「海事都市発展ビジョン」を参考にしつつ、港湾・船舶関連事業において、臼杵市や佐伯市とは異なる津久見市独自の強みを活かした戦略的な方向性を見出すことが必要である。

- 津久見市の強みは、石灰石の鉱山資源のほかに、リアス海岸による良好な自然港があり、これらが津久見市の発展を支えてきたため、港町の文化が根底にあると考えている。船員が津久見市に上陸し、消費・飲食して潤った過去もあったが、今では船が高速になって便利になったため、船員が津久見市で時間をつぶす余地がなくなってきている。しかし、以前のように船員をターゲットにしたビジネスの可能性が考えられる。例えばその一つとして、陸上電力供給が考えられる。停泊中に船はアイドリングでエンジンを回しており、CO2を輩出しているが、その電気を止め、陸上の電気を引っ張ってきたら、アイドリング無しで停泊でき、カーボンニュートラルにも貢献できる。しかし現在の津久見港にはそれだけの設備がないため、県・市・港湾業者を巻き込んで検討できるのではないか。ほかにも、重油船よりもLNG船が増えてきている昨今を踏まえ、LNGを供給するステーションをつくるというアイデアもあり、様々な規制もあるため行政が絡まないと実現できない。これは臼杵・佐伯にはできない津久見市の強みを生かしたアイデアである。

⑤ 基本目標5「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望

(循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等)

—

⑥ 基本目標6「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望

(市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等)

—

⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

—

(4) その他、自由意見

次期総合計画を策定するにあたり

(1) 市民が希望を持てる 10 年後のビジョン、ありたい姿を明確にすることが重要であり、定住促進のためにも将来に希望が持てるビジョンが必要。

- ・ ありたい姿からバックキャストして、何をするかという手法も考えるべき。
- ・ ウェルビーイングの分析は良いと思うが、その KPI を積み重ねて将来像を推計するだけでは、一般的な姿しか見えてこない。よって「尖った」ビジョンを期待する。

(2) 計画を実現する財政の見通し

- ・ 民間の長期ビジョンは、売上高や財務の目標と表裏一体となっているため、市の総合計画も財政の裏付けが必要であると考え。
 - 総合計画に盛り込んだ内容に財政面での実現性があるかどうかにも十分に精査したうえで、策定検討を進めていただきたい。
- ・ 今後 10 年間の予想されるイベントスケジュールを立てた上で、財政収支の見通しも盛り込むことが必要ではないか？と考える。

*イベントスケジュール (2025-2035 年)

太平洋セメント社八戸鉱山～2029 年度竣工予定

四浦風力発電～2026 年度着工？2028 年度完成？

県道松崎-平岩線開通～2030 年？

津久見港堅浦地区第二工区（漁港及び道路）完成～？

大分市新環境センター完成～2027.10 月稼働

長目果樹園（柑橘）整備事業～2026 年度完成予定

(このうち、新規鉱山開発、四浦風力発電事業等は固定資産税の増加に期待できる。)

3.2. JA おおいた県南柑橘研究会

(1) 団体の活動上の課題について

① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。

歯の抜けた園地では借り手もないし、新規改植してのでは収益が出るまでに 7~8 年はかかる。一旦荒らした土地を戻すにはさらに労力と時間がかかる。また、作りやすい土地であれば新規就農者が収容するまでの農家委託もしやすい。また、緩傾斜地は人家にも近いから荒らせば鳥獣による人的被害や生活に支障が出やすくなる。残すべき土地をランク分けして支援すべきである。

- 鳥獣対策として、多くの園地は金網で囲っているが、20 年くらい前から鳥獣が農道を通して山の下まで来ている。その後国の補助もあり、対策をしてきた。高齢化に加え、猟師の免許取得が難しいため、山に慣れている人が少なくなり、鳥獣被害も増えた。サルが山から下りてきて噛まれたなどの被害もある。温暖化によって生き残る確率も高くなっており、対人慣れしてしまうこともある。
- 土地について、30~40 年前と違い、良い土地は 1~2 割しか残っておらず、登記ができなくなっている土地が増えてきている。

② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。

温暖化の影響で栽培技術の見直しをしなければならないが、その対処法はまだできていない。まずは影響を受けていない少ない園地や農家を見つけ条件や栽培の特徴を分析することが大事になる。また、津久見の農家は独自技術を持った農家が多い産地だと思うが、その知恵を終結させて生き残らねばならない。長期的に見れば柑橘に変わる栽培品目の選定も調査していく必要があるのかもしれない。

- 9 月収穫のかぼすは近年の収穫量が少ない。温暖化前の 10 月は寒かったため、受精ができない状態となっていたが、温暖化で活動ができるようになってしまい、芽や花になりづらくなった。栽培技術の見直しについて、大分県柑橘研究会で話し合っている。良い先行事例を集めているが、時間がかかる。技術者が試験して見つける方法もあり、事例収集との両輪を考えていくべき。2050 年では九州がみかん栽培地として不適になるとの情報もあるため、ほかの品目も視野に入れないと農業そのものが危機になってしまう。本当に土地に合うのかどうかという段階もあるため、長期的な計画に基づいた研究が必要と考えている。
- Q. 津久見と言えばみかん、だが、最近はみかんの存在感が薄くなってきている現状がある。経営としてだけではなく、地域の方との交流の場としてみかんの園地を使うことはあるか？
⇒以前はそのような考えで、木を市民に所有してもらった活動が 35 年前くらいに流行ったが、結局単年度でなくなってしまった。
- Q. もう少しフランクで、公園に近いようなアイデアはあるか？
⇒公園を整備となると、行政から委託料として料金をもらわないと難しい。
- Q. 津久見がみかんのまちであるのならば、それにリソースを割くような空気感・試みがあってもよいのでは。

⇒まちなかにみかんを植えたこともあるが、管理が行き届かないため、結局枯れてしまった。残した園地の中に、地域との交流に使えるのならそれでよい。

③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

新規就農者を募集するためには、就農後収益が出る土地を用意しておかなければならない。そのすべてを働きやすい造成地というわけにはいかないだろうから、段幅3メートル前後の緩傾斜地を残すべく調査・指定し、認定農家でなくても高齢者でも苗木の育成費用労賃を助成する。

- 農地利用について、本来は日本人が100年後も利用できるようにするべきで、利用権を使った制度設計ができないかと考える。戦後、小作人制度によって土地が小さくなっており、広い土地にするためには合意形成が困難になる。利用しなくなったら税金を高めるとか、土地を返還するなどの制度ができればよい。使えない土地が増えると後々登記ができないものが大半になる。土地の把握も困難になる。国が責任を持てるようにしてほしい。

- Q. 津久見市に求めることは？

⇒市が造成するにしてもそれで生き残れる農家は少ない。既存農地を利用しながら、ある程度の区分けをして、助成をする仕組みを作してほしい。認定制度は、70歳までにしか助成されない。良い園地があっても放棄してしまうことがあるので、ある程度の年齢でも助成できるようにすべき。現行の助成制度は良い農地かどうかを判断せずに計画性なく助成が行われているため、結局は農地が減ってしまい、農地の流動化も進まなくなってしまう。

- Q. 農地の合意形成について、地元の方々と話してもらう場として、地域計画を策定している取組がある。地域計画の話し合いの場ではどのような議論があったか？

⇒地域計画の話し合いの場に出ていなかった。木さえ植えている土地があればやりたい、という人に対して渡せるような環境をつくりたいが、設備面などにより、人が入っていくようにはなかなかならない。地区ごとに認定業者が問題点を出して話し合うことは年に1〜3回ほどある。土地の話はあまりなく、個人の土地をどう持続するかに気を使っていってしまう。

鳥獣の被害が大きくなっている。カラスの箱罾が4機あるが機能しているのかわからないが増設してもらいたい。育てたものが数日で食べられてしまう現状では後継者もできにくい。市内の農道は土地改良区の管理になっているが、組織が機能していない。市に移管してもらいたい。そのためにも残す土地のランク分けが必要だと思う。

- Q. 農地の調査・評価の基準は？

⇒段幅3メートルあれば大型機械を使えるが、それより狭いと労働がしづらい。急勾配であればあるほど乾燥しやすいため、甘い蜜柑が取れたというメリットから、段幅が狭くなることもあるが、今は平地でもシートを敷いて乾燥させることも可能になった。一方で資材の高騰が進む昨今、技術に頼らずに味や品質を上げていければコスト削減になるというメリットはある。コロナの時にシートが医療作業に使われて高騰してしまった。他には畑全体に木が埋まっているなどの管理の質はわかりやすい評価基準となる。植えて4-5年経過したら実はつくが、次は3-4年かかるた

め、利益がつくのは長い年数がかかる。

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。

—

- ② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

—

(3) 津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

- ① 基本目標 1 「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望
(保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等)

—

- ② 基本目標 2 「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望
(教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等)

コロナ以降、不登校が増えたが、市のフリースクールネロリの充実を図り、教育機会を確保する必要がある。

- 児童員を 15 年やっているが、学校見学の際に空席があったため、不登校を抱えた親の会とも連携して、親との相談会を開いた。3～4 年して津久見市内の不登校が 0 になったが、コロナの影響で相談会ができなくなったときにまた不登校が増えてしまった。津久見市による公的な「ネロリ」が定借したところがないため、あまり機能していない印象がある。子どもたちが勉強するための施設が充実していないため、どこかに定着させて、設備の充実を図るべき。

- ③ 基本目標 3 「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望
(産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等)

高齢化によって農地や山林の管理が難しくなっているため、公的にその人材確保をしてもらいたい。高齢化でノウハウのある人がほとんどいない。土砂崩れや山火事リスクは高まる。

- ④ 基本目標４「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望
（都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等）

- ・ 災害時レベル３で高齢者等避難の発令があるが、市の避難所開設はレベル４が出ないと開設されない。これは矛盾した施策で、高齢者にとって安全な避難体制は構築されない。
 - 地域の防災にも携わっているが、高齢者や身体障害者の方々の安全な避難体制が確立していない。事前の避難ができればよく、講習会も行っているが、なかなか意識が変わらない。

- ⑤ 基本目標５「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望
（循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等）

—

- ⑥ 基本目標６「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望
（市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等）

- ・ 新市庁舎は津波対策のために床を上げたため、土地が空いているが、その活用について、買い物や食事ができるような機能があっても良いとは考える。

- ⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

—

(4) その他、自由意見

Q. 農業関係とセメント関係が意見交換をする機会はあるか。

⇒ない。以前は商工会に呼ばれた会議があったが、今はなくなった。知り合い同士の話はあるが、それが集約されて建設的な議論になるかと言えばそうではない。

⇒異なる産業同士のコラボレーションの可能性によって利益を上げられる取組も考えられる。それによって畑に対して補助をすることも考えられる。

⇒土壌改良材なども作っているが、直接買った方が安いという現状もある。

Q. 10年後の津久見市について、どのようなイメージがあるか。

⇒農家も減って個人売買も増えている。長目地区において当初は1つの品種で農地を埋めることが考えられていた。広い面積を1者がもつとなると、強い販売網を維持できないと厳しい。栽培だけではなくて売り方までふくめて考えていく必要がある。

3.3. 大分県漁業協同組合（津久見支店）

(1) 団体の活動上の課題について

① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。

津久見市内は購買力が低く、漁獲物の多くを市外に出している。市内に魚屋さんをやってくれる人がいればよいが、現状売るところ・食べる場所がなく、今は県外や佐伯に出している。モイカフェスタもやっており、何千食と出るが、後継者不足などもあり、運営が厳しい。同じイカでも呼子は、商売がうまい。

➤ Q. 後継者不足について、漁協の年齢構成は？

⇒全体が 470 人くらいのうち、7 割くらいが 60 代以上で、40 代以下の人は 30~40 人。後藤様が入ったときには 1300 人いた。しかし、魚の単価は上がっている。良いものを正直に表示して質が高いと評価されている。魚介類はこれから嗜好品みたいになってくると思うが、うまくやれば四季折々の漁業として展開して良い水揚げができると考えている。大量に獲る漁業から、個人で毎日エビ・カニ・イカ・タコを積み上げるほうが良い。天然で単価の高いものか、養殖で単価の安いものが今後主流になる。ぶりやはまちにしても天然よりも養殖の方が美味しいのが近年の傾向。現在は骨や皮のない状態で売られている場合が多いため、消費者にとっての単価はかなり上がる。

➤ Q. 温暖化によって取れる魚が変わったのか。

⇒イワシなどは取れなくなったが、全体で見るとみんなが騒ぐほど影響は少ない。漁獲量は変わっていないが、海藻類含めて価格が上がっているため、うまく経営することはできるかもしれない。

➤ Q. そのようなことを若い世代にアピールしている機会はあるか。

⇒現在取組は行っていない。アピールして解決する問題でもない。漁船などの道具にお金がかかるため、親子代々で継承していくしかない。漁業の労働は旧暦で動くため、一般のサラリーマンに生まれた子どもにはなじみがない働き方になる。

➤ Q. 市内には市場などもないのか。

⇒ないため、市外に出している。生産者ではなく、商売人がどう考えるかによって市内への供給量は変わる。津久見の商売人は臼杵とは違い、自分で工夫して商材・宣材を展開する気質ではなく、役所から与えられたものに頼る傾向がある。

➤ Q. そのような状況を打破するアイデアは？

⇒商売に長けた人を誘致するのが良いのではないか。役所や農協などは、資金面を提供できるが、人材育成には寄与できない。

② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。

—

③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

Q. 一番大きい課題は「売る」ということか？

⇒その通り。津久見市ではあまり大きな商売がなく、津久見市で魚屋をしたら当たると思う。佐伯には寿司や多くの海産物を販売しているお店があり、観光客も多くにぎわっている。そ

のようなところは単価が高いためお金も落ちやすい。地産地消にこだわるとうまくいかないのではないか。延岡などは鶏ではなく「チキン南蛮」として有名になっており、地産にこだわらない食のブランド展開をしている。ほかにも「アジフライ定食」を食べさせる町にしてはどうかと津久見市に提案したこともある。マグロやモイカは旬が短期間というのもあるので、地産地消にこだわらない展開をしていくのもあり。タチウオは福岡や韓国に出している。津久見は飲食できる場所が少なく、ひゅうが丼は一般的なものではないので、難しいと感じる。

Q. お昼を食べるところが少なく、弁当屋さんが混んでいるという市民の声もある。

⇒津久見の人は大分、臼杵、佐伯など市外で消費する傾向にあるのでは。臼杵は飲食できる場所が多く、神社仏閣などの文化もある。城下町の人たちの方が食べ物にしても比較的高価なものを好む傾向にあるのではないかと。臼杵藩と佐伯藩とのほざまで、契約書ではなく口約束できっちり契約しないという文化。漁協としては、市の支援はあまり必要にしておらず、競争力がないということが問題。

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。

Q. 道具への助成は必要か？

⇒支援に頼るよりも、自分で考えて捻出して道具をそろえてこそ、漁業の労働のあり方。それができなければ質は下がる。農家は自分で管理して商売する一方、漁業は目に見えないものをどう取るかの世界のため、全く異なる。やる気のある人は受け入れたいが、あまりやる気のない人は続かないと思う。初期投資は自分たちでしたうえで、更新するための2次的な投資のタイミングで補助があれば良い。

Q. 就業機会をアピールする機会は考えられないか。

⇒昔は人が一次産業に必然的に流れてきたが、今は大学にも簡単に行けるようになり、津久見高校の生徒もほとんど外に行く。市内事業所への就職も減っていると思う。漁業については、若い人たちは独立してやっている。独立した人も含めて40代以下が30-40人ほどいる。これから養殖が増え、食の安全性が問われる時代が来る。マグロは今非常に多いが、国の政策によって漁獲量に制限が設けられている。マグロは一度採ってしまうと体力が弱って死んでしまうため、もったいなく感じる。

Q. スマート漁業について

⇒鹿児島では水温が33度となっており、水域が制限されている。それを踏まえると鹿児島は今後漁業が衰退し、津久見のあたりが良い漁場となりうる。温暖化によって養殖には適した海になってきている。宮崎は波が荒いので、難しい。環境面では津久見は適しているが、良い漁場がない。AIなどを使った漁業の取り組みを行っている会社はあるが、漁協での取り組みはなく、会社に漁場を貸しているだけ。資源管理型漁協となるのが展望となる。磯焼けなど、資源保護に力を入れている。養殖のスパンを短くするなどの管理を行い、質を保ちながら漁獲量も保っている。そうして単価を上げることもなり、漁業者の所得も上がることになる。

Q. 漁業者は減っている中で、その中で残った人が商売できれば良い、という考えなのか？

⇒しっかり考えて管理できる人がいることが大きい。会社員から脱サラして津久見に帰ってきた人なら漁業に向いているかもしれない。漁師にも上手い・下手がある。資金力・決断力のある人が集団を束ねて活躍している。今の 60 代の漁師の子どもは今みんな会社員。

Q. 農業は定年後に戻ることも多いが、漁業は？

⇒定年後は体力面や時間帯から難しい。捕獲していかなければいけないため、農家とは違い難しい。

② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

・ Q. 主な販売流路は？

⇒市場を通すことで品質が保証される。しかし、市場を通さずに生産者から直接個人に売ることが増えたため、市場の質は低くなってきている。しかし、大量に商売するとなれば市場を通すことは必須。流通の仕組みを考え直すことが必要。佐伯の魚市場（消費者用の市場）も閉鎖することになるらしい。残るほうの市場は出荷市場のため、どんどん魚が県外に出てしまう。近年は家で魚を捌くことは稀であり、魚のグリルが台所にはなく、焼き魚が家庭では一般的でなくなっている。Q. 魚についての教育機会はあるか？

⇒小学生に対して教育を行っている。しかし、魚についての知識が昔と比べて著しく低下してしまっている現状はある。家で魚をさばいたり、一匹まるごと焼いたりするような文化がなくなっているため、それが漁師自体の絶対数の減少にも繋がっているのではないか。

(3) 津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

① 基本目標1「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望

(保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等)

—

② 基本目標2「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望

(教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等)

—

③ 基本目標3「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望

(産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等)

磯焼などの資源管理はしっかりしていきたい。

④ 基本目標4「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望

(都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等)

—

⑤ 基本目標5「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望

(循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等)

—

⑥ 基本目標6「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望

(市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等)

—

⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

- ・ 子どもを増やすことが先決。どこの産業でも、市役所でも人手不足が深刻であり、みんな県外に出て行ってしまう。
- ・ 車を持っているため、住んでいて不便と思うことはあまりなく、コンビニも多いため、老人が困らない環境はできているのではないかと。しかし市街地から外れた場所は不便。日代や保戸島では高齢者に弁当を配っていた時期もあったが、現在は無い。

(4) その他、自由意見

—

3.4. 津久見社会福祉協議会

(1) 団体の活動上の課題について

① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。

一番の課題は、高齢化によって色々な委員が1期でやめてしまうことが多い。もし、1期が2年であれば、2年目は後任探しで終わってしまうという人の問題がある。ボランティアや民生委員とのつながりは保っているが、それだけではなく商店やいろんな人の中で気になる方がいれば即巻き込めるようにしたい。

若い方が地域の活動でほとんどいない。若い班長もたまにいますが、仕事も忙しく会社と自宅の往復となり、お祭りの維持や川掃除ができない。若い人がほかの自治体において定住の祝い金があるところのほうに流出してしまう。平成29年の台風災害や教育面などの課題による転出も考えられるかもしれない。

民生委員の方々も紙ベースでデータを収集しており、DX化なされていないことも課題である。

② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。

これまでは介護保険中心だったが、H21から方向転換し、介護保険事業を廃止して、これを民間事業に渡して地域福祉活動1本にした。住民との信頼関係として、①地域のネットワーク、②関係者のネットワーク、③24h365d 初期相談窓口、という3つの柱がある。地区に赴きながら取り組みをご理解いただき、支え合いの環を広げたく、事業展開している。津久見市は小さいため、自治会ごとにまとめることが、財政・文化・歴史の点から難しい。自治会では、自治会長をトップとして福祉関係を地区社協として取組を進めている。

③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

—

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。

- 1.南海トラフ等による津波等で現社協事務所が使えなくなった場合の社協事務所の仮移転先について（災害ボランティアセンター設置場所も含めて）
- 2.自治会運営等について
 - 1) 自治会（特に四浦、無垢島など）の機能維持（役の成り手不足等）のために再編等が必要ではないか
 - 2) 超高齢社会により、役員の成り手不足は深刻です。特に、区長、民生委員児童委員、介護予防推進員の成り手不足については、社協が関わる地区社協の総会において、常に課題として挙げられます。
 - 3) 特に、地区の役員からの意見として、市から発送される文書や会議の案内等が多いという意見が多い。
- 3.高齢者や障がい者等の介護サービス提供を担う人材が足りない。
 - Q. 介護サービスの人材が足りないことについて
⇒ケアマネジャーの平均年齢が 60 歳以上、プランを立てられる方や有資格者がいない。待遇やいろんなことの板挟み、研修もかなり過酷などの様々な要因が考えられる。高齢者が多いため、更新する気にもならない。それに追い打ちをかけるように国の制度で門を狭くしたため、一層人手不足が深刻となる。
- 4.単身者（特に身寄りのない方）の判断能力の低下から死後まで、消費者被害や孤立死等様々な課題があるが、それを支援する家族がいない方が顕著に増えている。
- 5.ふれあいいきいきサロンについて
 - 開催すること自体が困難となっている地域が多い。
 - 来る（見守る）べき人が来ていない現状がある。
 - 参加者が、年々減少傾向にある。
 - ふれあいいきいきサロンは H18 年くらいから始めている。津久見市には各集落の徒歩圏内に 60 カ所ほど設置しているが、参加人数が減ってきている。現状でサロンという機能自体が難しいが、ふれあいサロンにこだわるのではなく、孤立する人を保護するというような考え方で活動したい。マンネリ化などの問題は多い。
- 6.近年、「家族間の疎遠」が著しく進行しているように思う。

- ② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

- ・ 市内、市外問わず民間企業等の保有する土地等も含め候補地を数カ所選定し、必要に応じて交渉や協定等を行政と社協とで早めに行っておく。
 - 1) 財政問題等もあり容易ではないと思うが、市全体で難しければ希望する自治会へのみの参加でもよいので、勉強会や検討会を開催してみるのはいかがでしょうか。自治会主導よりも市から働きかけたほうが入り易そう。（例えば、成り手不足の検討会等を切り口にする等）
 - 2) 自治会の再編については、市が自治会の再編案を作成のうえ公表し、広く意見を聞くことが必要ではないでしょうか。

- 3) 民生委員児童委員、介護予防推進員について、担当地区の業務や役割を2人で分担して行うなどの工夫が必要ではないか。
- 自治会の規模は小さいと地域力が強いが、役員を出すときに土壌が弱い。連絡網なのか、安否確認なのか、何を優先度を高く設定するかが難しい。定年が上がり、定年後に自治体に参加する方々は70歳以上になってしまう。

(3) 津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

① 基本目標1「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望

(保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等)

- ・ 認知症の高齢者が増える中、津久見市には精神科、心療内科といった専門病院がない。今後、開業してもらえるとありがたい。
 - 病院に関しては診療科目によって、不足が目立つところもある。大分市まで行って診療するケースが多い。
- ・ 高齢者の食の問題について、市、商工会議所、飲食店等が協力して低価格で食べられる弁当など配ってもらえるとありがたい。
 -

② 基本目標2「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望

(教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等)

- ・ どの教育においても、いろんな人と関われるようなものが多いほうが、それぞれにメリットがあると思う。
- ・ 一流予備校の講師を雇い、リモートで授業を行ってもらおう。
- ・ 行政が行う関係者への説明を、録画配信等を利用し、負担軽減を行う。
- ・ ここまで少子化が進んだら、幼少中高一貫教育も考えられるのではないかと
➤

③ 基本目標3「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望

(産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等)

- ・ 整った海・太陽・段々畑があるので、みかん作り産業をもっと活性化できたらいいと思う。4月末～5月初旬にかけてみかんの花が香ります。「津久見に生まれて良かった。」と思う瞬間です。つくみのみかんの復活を切に願います。

④ 基本目標4「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望

(都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等)

・

- ⑤ 基本目標5「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望
(循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等)

・ 中田区のあじさい畑のように、使用してない畑や荒廃した畑などの有効活用の推進。

- ⑥ 基本目標6「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望
(市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等)

・ 持続可能な自治会の再編（何を残し、何をやめるのか）。

- ⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

Q.

(4) その他、自由意見

- ・ Q. 社協にとって、次期5,10年でこうしたいという観点は？
⇒コミュニティをどういう形で維持していくかという観点は必要。行政区もある中で、自治会機能を将来運営できる形で作っていくかが課題。地域を回ると、悲鳴ばかり。班の範囲を広げても、高齢のため対応が難しい場面が増え、若い方へのしわ寄せが来ている。若い人がサロンの手伝いに来ると、いずれ役員になるかもしれないとの懸念から、やめていく人も増えてしまう。
- ・ 人口減少が深刻な状況であることを、危機感をもって伝えられたら良い。

3.5. 津久見市連合 PTA

(1) 団体の活動上の課題について

① 活動を進めていく上で、抱えている課題があれば教えてください。

- ・ 子どもの数が減っているため、小学校の統廃合は懸念事項である。中学校の統廃合を受けて、学校がなくなった地域は廃れていく現実を目の当たりにしている。1つしかない津久見高校の存続に懸念がある。小学校の統廃合については、デジタル技術を用いた分散型の小学校配置のあり方があると考え。
- ・ 小学校の統廃合・子育て世帯の職場・子どもの医療充実（小児科・産婦人科）に課題があると感じる。津久見市の魅力が乏しいため、結婚・マイホームのタイミングで津久見を出てしまう人が多く、年配の人たちではなく、若い人たちにとっての魅力を上げるべく、その政策への力点を置くべき。津久見市みんなで地域力を上げ、活気のある、住みたいと思ってもらうまちになってほしい。
- ・ コロナ以降、PTA 活動の存在意義が問われる中での姿勢の共有が難しい。子どもの数をどう増やすかが論点になりうる。津久見高校に通いやすい環境を市・教育委員会等がつくってくれているが、PTA 活動に関連する要請にあまり答えてもらえない印象がある。

② 上記①の課題解決のために、取り組んでいきたいとお考えの活動があれば教えてください。

—

③ 上記①の課題解決のために、必要な支援があれば教えてください。

—

(2) 団体の活動分野における市の施策の課題について

- ① 貴団体の活動に関連する分野の市の施策について、課題であると感じていることがあれば教えてください。

—

- ② 上記の課題を解決するための改善策やアイデアがあれば教えてください。

—

(3) 津久見市のまちづくりへのご意見・ご要望等について

- ① 基本目標 1 「健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」に関するご意見・ご要望

(保健・医療・福祉分野：保健医療の充実、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、子育て支援の充実、社会保障の充実等)

- ・ 高校生までの医療費無料は良い点であるが、小児科単体を有している病院がないため、市内の病院では、子どもはご年配の方々と一緒に診察を待たなければならない。
- ・ 例えば子どもの健康や福祉等の面で全国的にも突出したまちの将来像があっても良いと考える。

- ② 基本目標 2 「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」に関するご意見・ご要望

(教育・文化分野：学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実等)

- ・ つくみん公園は良い公園だが、雨の日にも対応できるような若者が集まれて遊べる室内の場所があれば良い。例えば学生たちが宿題ができるような場の創出は継続的に市に要請している。新市庁舎は交番とも近いため、そこに小中学生が集まれる場所ができれば理想的である。
- ・ 子どもが参加できるスポーツ関連の大会やイベント（水泳記録会・バスケの 3on3 など）がもっと頻繁に開催されてもよいのではないかな。
- ・ 子どもが少ないと小中学校に充てる教員の数が少なくなり、教員の負担が多くなってきている中で、教師の招聘など、教育の充実には行政からの負担が必要。例えば水泳授業を民間委託している市もあるが、津久見市には市民プールがないため、実現が難しい。
- ・ 10 年後はご年配の方々だけでなく、子どもたちの笑い声が聞こえるまちになってほしい。

- ③ 基本目標 3 「世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」に関するご意見・ご要望

(産業振興・雇用分野：農林業の振興、水産業の振興、鉱工業の振興、商業の振興、観光・レクリエーションの振興、就労環境の整備等)

- ・ 若者が一度津久見市を出ても戻ってこれるまちであってほしい。

- ④ 基本目標４「多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」に関するご意見・ご要望
(都市基盤・生活基盤整備分野：交通ネットワークの整備、港湾の整備、情報通信基盤の整備、住みたい・住み続けたいまちづくり、上下水道等の整備、安全安心の基盤づくり、消防・救急の基盤づくり等)

- ・ 安心・安全面について、街灯設置や標識引き直しを継続的に要請している。利便性の悪さは課題であり、産婦人科病院や 24 時間の託児所が市内にないことは子育てのしづらさに直結する。一方、遠方の児童がタクシーによって通学できることは利点。
- ・ 駅前再開発については、財政の問題から難しい。

- ⑤ 基本目標５「美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」に関するご意見・ご要望
(循環型社会・環境保全分野：生活環境の保全と向上、循環型社会の推進、景観の保全・整備等)

- ・ 10 年後に 10 歳になる子どもたちが愛着も持ってもらえるようなまちになってほしい。

- ⑥ 基本目標６「未来の津久見を共に考え行動するまち」に関するご意見・ご要望
(市民活動・行財政分野：市民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化、男女共同参画・人権尊重社会の形成、安定した地域経営の推進等)

- ・ 地域とのつながりの強さについては意見が分かれるが、津久見で育った親世代にとっては子育てがしやすい側面と言え、犯罪の少なさなどの治安の良さにも結びついている。
- ・ 一方で、地域とのつながりが少なくなっているとの懸念もある。安全性の観点から、地域のひとと道端で話すという日常がなくなりつつあり、PTA 活動の中でも地域と連携したイベントもなくなっている。学校でも地域とのつながりに関連する教育を取り入れるべき。
- ・ PTA は任意団体である以上、取組を起こすにも学校にお願いするしかない。コロナ前は地域の方にゲスト講師を務めていただいたが、コロナ後は水泳記録会も然り、不要論が問われた。

- ⑦ その他、津久見市のまちづくりへのご意見やご要望等があれば教えてください。

- ・ どのような分野でも良いで、市民にとってポジティブに捉えられる変化を津久見市で感じられるようになってほしい。

(4) その他、自由意見

—